

# 他者と協働し、豊かな言語生活を実現する国語学習 —学びを通して身に付けた言葉の力を日常生活で生かそうとする—

読むこと部 研究主題

自立した学習者を育てる読むことの指導

## 第2学年国語科学習指導案

### 単元名 お気に入りのがまくんやかえるくんをしょうかいしよう ～自分とくらべて読み、かんそうをもとう～

学習材名「お手紙」（光村図書 2年）

第1会場 品川区立大井第一小学校  
日時：令和8年2月20日(金)5校時  
児童：品川区立大井第一小学校 第2学年松組 34名  
担任：品川区立大井第一小学校 教諭 武田 慶帆  
指導者：品川区立豊葉の杜学園 主幹教諭 多田羅 智美

第2会場 台東区立松葉小学校  
日時：令和8年2月20日(金)5校時  
児童：台東区立松葉小学校 第2学年2組 19名  
担任：台東区立松葉小学校 教諭 泉川 奈津子  
指導者：杉並区立高井戸第二小学校 主任教諭 山地 智美

#### 1 単元の目標

- 身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにすることができる。  
〔知識及び技能〕(1)オ
- 文の中における主語と述語との関係に気付くことができる。  
〔知識及び技能〕(1)カ
- 場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。  
〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)エ
- 文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。  
〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)オ
- 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。  
「学びに向かう力、人間性等」

#### 2 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。(1)オ ②文の中における主語と述語との関係に気付いている。(1)カ	①「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。(C(1)エ) ②「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。(C(1)オ)	①進んで文章の内容と自分の体験とを結び付けて感想をもち、学習課題に沿ってお気に入りカードに書き表そうとしている。

#### 3 単元構想

(1) 児童について（児童観）

・ 第1会場

本学級では、文学作品の授業において、音読の機会を特に大切にしてきた。「スイミー」の学習では、スイミーの行動や会話に着目しながら読み進めた。また、教師が意図的にレオニが書いた本を読み聞かせし、同じ作者が書いた他の作品にも興味をもたせるようにした。

・ 第2会場

本学級では、挿絵と叙述を結び付けて場面の様子を捉え、登場人物の行動を具体的に想像する

学習を積み重ねてきた。また、「スイミー」の学習を通して作者に着目し、同一作者の作品を進んで読む児童が多い。

これらを踏まえ、本単元では「がまくんやかえるくん」の行動を場面に即して想像するとともに、シリーズ本を並行して読むことで、登場人物への親しみを深め、新たな発見を通してシリーズ作品ならではの楽しさや本の世界の広がりを楽しみたい。

## (2) 学習材について（学習材観）

本教材は手紙を一度ももらったことのない「がまくん」と、がまくんの気持ちに寄り添い、懸命に励ます「かえるくん」の友情を描いた物語である。場面の様子や登場人物の行動、会話、挿絵から具体的に気持ちを想像しながら読み取ることができる。主に会話文が中心で、場面ごとにながまくんの心情が変化していく。かえるくんが、がまくんに手紙を書いて届けさせるという行動には、友情・思いやりが表れている。また、手紙は「相手を思う気持ち」を形にするものであり、児童にとっても生活経験に直結するものである。児童が日常生活の中で実感している「友達と関わりたい」「気持ちを伝えたい」という思いと重なり、登場人物と自分自身を比べながら読み進めることができる。

## (3) 単元について（単元観）

本単元の言語活動として、お気に入りカードの作成を設定した。お気に入りカードとは、がまくんとかえるくんのシリーズ本の中から、お気に入りのがまくんやかえるくんを、お気に入りポイントとともに紹介し、一言メッセージを書くカードである（「7 資料(2)」参照）。学習材「お手紙」では、人物の行動と様子を詳しく読み、登場人物の行動を具体的に想像する。毎時間、自分と似ているところや違うところを考えながら読んだまとめとして、がまくんやかえるくん一言メッセージとして「自分だったら～するよ。」「私も似たようなことがあったから～する気持ちが分かるよ。」等書く。自分と比べて読むことで、登場人物への理解が深まり、より物語を深く理解できることで読書の楽しみが広がることに気付かせたい。

また、並行読書でシリーズ本も読む。ほとんどの児童がこれまで同じ作者の書いた本を読む経験はあるが、同じ登場人物が出てくるシリーズ本を読む経験はない。シリーズ本を読むことで、学習材以外の話から得たがまくんやかえるくんの行動や様子を重ね合わせて読んだり、新たな一面として捉えて読んだりできる。そうすることで、多角的に登場人物を理解したり、より物語のおもしろさに気付いたりすることができると思った。物語を読む楽しさを味わえる学習者を育てたい。

## 4 研究主題に迫るために

- (1) 「言葉による見方・考え方」を働かせる学びをつくる。

目指す児童の姿：①「読み方」を意識して読む

### ○ 学習材分析表の作成

本単元において児童が身に付けたい力は、「自分と比べて読み、感想をもつ力」である。ここでの感想をもつ力とは、登場人物の行動を具体的に想像した上で、「自分だったら～」と考える力とした。本単元の学習材分析表にあるとおり、「自分と比べて読み、感想をもつ力」を身に付けさせるために大きな問い「お気に入りのがまくんやかえるくんをしょうかいしよう。」を設定した。この大きな問いを解決するために、小さな問い①「『ふたりともかなしい気分』なのは、どうしてか。」②「かえるくんが自分でお手紙をとどけなかったのは、どうしてか。」③「かえるくんががまくんにお手紙を書いたことを言ってしまったのは、どうしてか。」④「ふたりが、書いていることが分かっているお手紙を四日もまっていたのは、どうしてか。」を位置付けている。小さな問いについては、「読みの観点」である「場面の様子、登場人物の行動や会話」、「自分の知識や経験」に着目してどう読むか、大きな問いについては「読みの観点」である「自分の知識や経験」に着目してどう感想をもつか、児童の読みの例を分けて記述し、一目で分かるようにした。

※読むこと部全体の研究については、別紙（読「研究部」1-2）の資料を参照。

本単元で育てたい読むことのと見方・考え方		
読むことのと	読むことのと	整理・分析等の方法
<ul style="list-style-type: none"> <li>場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像する</li> <li>自分と比べて読む、感想をもつ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>場面の様子</li> <li>登場人物の行動（したこと）</li> <li>登場人物の会話（言ったこと）</li> <li>挿絵（表情）</li> <li>自分の知識や経験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>見直す（音読する・気を付けて読む）</li> <li>つなげる</li> <li>結び付ける</li> <li>比べる</li> <li>なりきる（動作化）</li> </ul>

(2) 児童が（本単元において）身に付けたい力を意識し、自ら学びを進める。

目指す児童の姿：②自ら読み進める

○ 単元構成の工夫

本単元では、児童の興味関心を引き出し、自ら学びを進めるために「出合う→つかむ→問いをもつ→深める→まとめる」の流れを意図的に構成した。

「出合う」…単元に入る前に、図書館司書の読み聞かせで、がまくんとかえるくんシリーズの中のお話を1つを取り上げ、他にも様々なお話があることを紹介する。単元に入った時、「前に読んでもらったシリーズのお話だ。」と思えるようにすることで、児童の興味関心を引き出す。また、シリーズ本の挿絵を掲示しておくことで、「もっと読みたい。」「もっとがまくんやかえるくんについて知りたい。」という思いを引き出す。

「つかむ」…会話文の主語を確認し、登場人物や地の文に分かれて繰り返し音読を楽しむ中で、物語の大体を捉えられるようにする。

「問いをもつ」…登場人物について感じたことや不思議に思ったことを話し合う中で、どこ（どの文章）からそう思ったのか根拠を出し合い、「登場人物がそのような行動をとったのは、どうしてか。」という学習課題を作っていく。

「深める」…学習課題を解決した後、がまくんか、かえるくんへ伝えたい一言メッセージを記録していく。がまくんやかえるくんになりきって行動の理由を考えた後、読者側にもどってがまくんやかえるくんに対して思った内容をまとめる時間を確保することで、最後に自分と比べて読んだ感想が深まるようにする。

「まとめる」…学習したことを生かして、お気に入りカードを書く活動を設定する。上段には、学習課題で考えた内容や、並行読書したお話を読んで感じたことをもとに、がまくんやかえるくんのお気に入りポイントをまとめる。下段には、自分と比べながら、がまくんやかえるくんに言ってあげたいことを書く。

○ 振り返りの工夫（読みの足あと）

本単元では、どのように読んだら登場人物の行動の理由が分かったかのかという観点から毎時間の最後に学級全体で振り返り、学級の「読みの足あと」として作成して掲示していく。

児童は、「たら、かえるくんが自分でお手紙をとどけなかった理ゆうが分かった。」等の文言に対し、自己評価する。の部分には、「がまくんが言ったことをよく見て考えたら」「最初の場面と比べたら」など、その時間に重点的に取り上げた読みの視点や学級で取り組んだ整理分析の方法、言語活動などから選んで挙手できるようにしておく。このように、低学年の段階から自分の読み方を言葉で振り返る活動を習慣化させることで、自らの読み方を客観的に振り返って理解を深め、その後生かしていく中学年以降の「読みの足あと」へとつながると考える。

(3) 学習活動（言語活動）において、自らの考えをもち、多様な考えをもつ他者と関わり協働する中で、新たな考えをもつ。

目指す児童の姿：③協働的に読む

○ 交流の工夫

【ペア交流】

ワークシートを書き終わった児童から、自由にペアを作り、自分の考えを伝え合う。（どの文章を根拠にしたか、全文シートの線を引いたところを見せながら伝えるように指導する。同じ考えでも自分と違うところから考えていたり、同じところに線を引いていても違うことを考えていたりすることに気付かせる。ワークシートの読み合いにならないように、なるべく全文シートのみを持って交流し、自分の考えを伝えるようにする。）

活発に交流するためのヒントを、以下のキャラクターとして提示する。

うなずきん（あいづちをうつときに、あらわれる。）

○「いいね。」「なるほど。」「わかったよ。」のあいず。



キクン（あい手にしつもんするとあらわれる。）

○どうして～ですか。

○それは～～ということですか。



クワエール（あい手の話につけ足すとあらわれる。）

○～さんに、つけ足します。

○～さんに同じで（ちがって）、…です。



【全体交流】

出会わなかった友達の考えを紹介し合い、板書で整理することで、新たな発見につながったり、「読みの観点」と「整理分析の方法」を関連して価値付けたりする。また、語彙を意識した問い返しや動作化（「見る」と「のぞく」の違いなど）を行うことにより、語彙の拡充を図る。

○ 全文シートの活用

自分の考えをもつ場面において、場面と場面を比べたり、根拠となる叙述に線を引いたりできるように形式を工夫する。ペア交流において、自分の考えを叙述をもとに話したり、友達の考えと比べたりするために活用する。

(4) 獲得した言葉の力を日常生活に活用し、言語生活を豊かにする。

目指す児童の姿：④言葉や文章を大切に使う

○ 読むことのよさや面白さに気付く工夫

【読書カードの活用】（「7 資料(3)」参照）

本單元では、同じ登場人物が出てくる物語（シリーズ本）を読む楽しさを味わわせ、読書の楽しみ方の幅を広げたいと考えた。そこで、がまくんとかえるくんの出てくるお話を並行読書し、記録できるような読書カードを活用する。ただし、記録することが負担にならないよう、必ず書くのは、読んだお話の題名に○をつける部分と、読んだお話の中でのがまくんやかえるくんのお気に入り度の☆を塗る部分だけとし、記述部分は書きたい児童だけが書けばよいこととする。第4時以降、授業の始まりに「どんな話を読んだか」を児童に問いかけて話題にすることで、「そのお話も読んでみたい。」という児童の思いを引き出すようにする。

【終末の言語活動の工夫】（「7 資料(2)」参照）

本単元の終末の言語活動では、身に付けた「自分と比べて読み、感想をもつ力」を発揮するとともに、シリーズ本を読んだ経験も発揮できるようにしたいと考えた。

そこで、上段にがまくん（かえるくん）のお気に入りポイントをまとめ、下段にがまくん（かえるくん）と自分を比べながらがまくん（かえるくん）へのメッセージを書く、という形の「お気に入りカード」を書く活動を設定した。お気に入りポイントとは、「がまくん

(かえるくん)のどんなところ(やさしいところ、友達思いなところ、など)が好きか」である。書く内容は、「お手紙」のがまくんやかえるくんのことでも、他のお話のがまくんやかえるくんのことでもよいこととする。書く際には、ワークシートや読書カードを参考にする。

国語の授業で獲得した言葉を日常生活に活用する			
			
読み方(見方・考 え方)が分かる	読むよさや面白さを感じる	すすんで、幅広く読書に 親しむ	読書につなげる工夫
登場人物の会話や行動等に気を付けて読むことで、登場人物の様子や行動の理由を具体的に想像できた。	・「自分だったら…」と登場人物と自分を比べながら読んだり、感想を話し合ったりすると楽しい。 ・同じ登場人物が出てくる話をシリーズで読むと、登場人物のいろいろな面が分かって楽しい。	ストーリーや絵を楽しむだけでなく、好きな登場人物を見付けたり、シリーズの本を読み比べたりすることも楽しむ。	・読書カードの作成 ・題名あてクイズによる紹介・共有 ※同じ登場人物が出てくる物語(シリーズ本)

## 5 単元計画(全7時間)

過程 (次)	時	学習活動	指導上の留意点	評価規準 評価方法
第0次 読書環境の整備	0	1 図書館司書から「はるがきた」の読み聞かせを聞く。 2 登場人物を知り、アーノルド・ローベルのシリーズ本に興味をもつ。 3 シリーズ本の挿絵に興味をもつ。	○「お手紙」と似ている話を選び、がまくんとかえるくんについてイメージをもてるようにする。 ○シリーズ本の1冊の中にお話が複数あることを確認する。 ○アーノルド・ローベルのシリーズ本をいつでも手に取れる教室環境を整える。 ○シリーズ本の挿絵を教室内に掲示する。	
第一次 構造と内容の把握	1	1 既習の文学的な文章を振り返る。 2 既習の文学的な文章を思い出し印象に残っている話について考えを出し合う。 3 スイミーのお気に入りカードを読み、単元の見通しをもつ。	○文学的な文章で学んできたことを振り返る。 ○お気に入りの理由や登場人物に一言メッセージをお気に入りカードに書くことを確認する。 ○自分だったらスイミーにどんな声をかけるかを想像させながら単元の見通しをもたせる。	
お気に入りのがまくんやかえるくんをしょうかいしよう ～自分とくらべて読み、かんそうをもとう～				
		4 物語を読み、話の大体を捉	○全文シートを使って、	

	える。	登場人物の主な行動を場面ごとに確認する。 ○挿絵を提示しながら、場面の区切りや登場人物の様子を捉えられるようにする。 ○物語のよさやくわしく読みたいことから児童の考えを引き出し、学習課題に生かせるようにする。	
	5 登場人物について感じたことや不思議に思ったこと、疑問を書く。	○物語のよさやくわしく読みたいことから児童の考えを引き出し、学習課題に生かせるようにする。	
2	1 「お手紙」を会話文と地の文に分かれて音読し、登場人物の行動や様子の大体を捉える。  2 学習計画を立て、学習の見通しをもつ。 【学習計画(例)】 ①「ふたりともかなしい気分」なのは、どうしてか。 ②かえるくんが、自分でお手紙をとどけなかったのは、どうしてか。 ③がまくんにお手紙を書いたことを言ってしまったのは、どうしてか。 ④ふたりが、書いていることが分かっているお手紙を四日もまっていたのは、どうしてか。	○色分けした全文シートを使って、会話文の主語を捉えられるようにする。 ○登場人物ごとに分けて音読することで、場面を通して登場人物の様子に気付くことができるようにする。  ○物語のよさやくわしく読みたいことから児童の考えを引き出し、学習計画の見通しがもてるようにする。 ○児童の学習感想を基に場面ごとに学習課題を設定する。以降、追加修正を随時していく。 ○学習課題について登場人物の行動から様子を想像しながら本文を読み取ることを確認する。	〔知識・技能②〕 音読・発言・全文シート ・文の中における主語と述語との関係に気付いているかの確認
第二次	3  1 読書カードの内容を振り返る。 2 学習計画を確認し、学習の見通しをもつ。  ①「ふたりともかなしい気分」なのは、どうしてか。	○題名クイズをして読書カードの内容を振り返り、どんな話を読んだか感想を共有する場を設ける。	◆読みの観点 ・行動・会話 ・場面の様子 ・挿絵 ・自分の知識、経験 ◇整理分析の方法 ・音読したり気を付けて読んだりしながら自分の考えを見直す。
精査・解釈	3 第1場面を音読する。 4 学習課題について、自分の考えを書く。 (1)全文シートの叙述で、がまくんやかえるくんの様子が分かるところに線を引く。 (2)ワークシートに自分の考えを書く。	○学習課題について考え、がまくんとかえるくんのお気に入りカードを書くことを確認する。 ○課題解決を意識して音読するように声をかける。	

	<p>5 ペア交流をする。 ・全文シートを持って交流する。</p> <p>6 考えたことを全体で共有する。</p> <p>7 本時に考えたがまくんとかえるくんに対して、今日の一言メッセージを書く。</p> <p>8 本時のめあてについて振り返り、次時の学習内容を確認める。</p>	<p>○「かなしい」「ふしあわせ」の言葉だけではなく、2人の悲しさが表れている叙述に気付かせる。</p> <p>○考えの根拠を示しながら交流するように声をかける。</p> <p>○どの文章を根拠にしたかを問い直すことで、言葉による見方・考え方を意識させる。</p> <p>○自分の体験等と比べて書き表すようにする。</p> <p>○「読みの足あと」を意識して考えることができたかを振り返るようにする。</p>	<p>〔知識・技能①〕 発言・ワークシート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしているかの確認</li> </ul>
4	<p>1 読書カードの内容を振り返る。</p> <p>2 学習計画を確認し、学習の見通しをもつ。</p>	<p>○題名クイズをして読書カードの内容を振り返り、どんな話を読んだか感想を共有する場を設ける。</p>	<p>〔思考・判断・表現①〕 発言・ワークシート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像しているかの確認</li> </ul>
	<p>②かえるくんが、自分でお手紙をとどけなかったのは、どうしてか。</p> <p>3 第2場面を中心に音読する。</p> <p>4 学習課題について、自分の考えを書く。 (1) 全文シートの叙述で、がまくんやかえるくんの様子が分かるところに線を引く。 (2) ワークシートに自分の考えを書く。</p> <p>5 ペア交流をする。 ・全文シートを持って交流する。</p> <p>6 考えたことを全体で共有する。</p> <p>7 本時で考えたかえるくんに対して、今日の一言メッセージを書く。</p>	<p>○学習課題について考え、がまくんとかえるくんのお気に入りカードを書くことを確認する。</p> <p>○課題解決を意識して音読するように声をかける。</p> <p>○様子が分かる言葉を探すために、行動、表情、言い方に着目するように助言する。</p> <p>○考えの根拠を示しながら交流するように声をかける。</p> <p>○どの文章を根拠にしたかを問い直すことで、言葉による見方・考え</p>	<p>◆読みの観点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行動・会話</li> <li>・挿絵(表情)</li> <li>・場面の様子</li> <li>・自分の知識、経験</li> </ul> <p>◇整理分析の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一場面の二人の会話と二場面のかえるくんの行動をつなげて考える。</li> </ul>

	<p>8 本時のめあてについて振り返り、次時の学習内容を確認める。</p>	<p>方を意識させる。 ○自分の体験等と比べて書き表すようにする。</p> <p>○「読みの足あと」を意識して考えることができたかを振り返るようにする。</p>
<p>5 本 時</p>	<p>1 読書カードの内容を振り返る。 2 学習計画を確認し、学習の見通しをもつ。</p>	<p>○題名クイズをして読書カードの内容を振り返り、どんな話を読んだか感想を共有する場を設ける。</p>
	<p>③かえるくんががまくんに、お手紙を書いたことを言ってしまったのはどうしてか。</p>	
	<p>3 第3場面を中心に音読する。</p> <p>4 学習課題について、自分の考えを書く。 (1) 全文シートの叙述で、がまくんやかえるくんの様子が分かるところに線を引く。 (2) ワークシートに自分の考えを書く。</p> <p>5 ペア交流をする。 ・全文シートを持って交流する。</p> <p>6 考えたことを全体で共有する。</p> <p>7 本時で考えたかえるくんに対して、今日の一言メッセージを書く。</p> <p>8 本時のめあてについて振り返り、次時の学習内容を確認める。</p>	<p>○学習課題について考え、がまくんとかえるくんのお気に入りカードを書くことを確認する。</p> <p>○課題解決を意識して音読するように声をかける。</p> <p>○様子が分かる言葉を探すために、行動、表情、言い方に着目するように助言する。</p> <p>○考えの根拠を示しながら交流するように声を掛ける。</p> <p>○どの文章を根拠にしたかを問い直すことで、言葉による見方・考え方を意識させる。</p> <p>○自分の体験等と比べて書き表すようにする。</p> <p>○「読みの足あと」を意識して考えることができたかを振り返るようにする。</p>

◆読みの観点

- ・行動・会話
- ・挿絵(表情)
- ・場面の様子
- ・自分の知識、経験

◇整理分析の方法

- ・なり切ったり動作化したりしながらがまくんとかえるくんの様子を具体的に想像し、二人の行動の理由を想像する。

6	<p>1 読書カードの内容を振り返る。</p> <p>2 学習計画を確認し、学習の見通しをもつ。</p>	<p>○題名クイズをして読書カードの内容を振り返り、どんな話を読んだか感想を共有する場を設ける。</p>
<p>④ふたりが、書いていることが分かっているお手紙を四日もまっていたのは、どうしてか。</p>		
	<p>3 第3場面を中心に音読する。</p> <p>4 学習課題について、自分の考えを書く。  (1) 全文シートの叙述で、がまくんやかえるくんの様子が分かるところに線を引く。  (2) ワークシートに自分の考えを書く。</p> <p>5 ペア交流をする。  ・全文シートを持って交流する。</p> <p>6 考えたことを全体で共有する。</p> <p>7 本時で考えたがまくんとかえるくんに対して、今日の一言メッセージを書く。</p> <p>8 本時のめあてについて振り返り、次時の学習内容を確認する。</p>	<p>○学習課題について考え、がまくんとかえるくんのお気に入りカードを書くことを確認する。</p> <p>○課題解決を意識して音読するように声をかける。</p> <p>○様子が分かる言葉を探すために、行動、表情、言い方に着目するように助言する。</p> <p>○考えの根拠を示しながら交流するように声をかける。</p> <p>○どの文章を根拠にしたかを問い直すことで、言葉による見方・考え方を意識させる。</p> <p>○自分の体験等と比べて書き表すようにする。</p> <p>○「読みの足あと」を意識して考えることができたかを振り返るようにする。</p>

◆読みの観点

- ・行動・会話
- ・挿絵(表情)
- ・場面の様子
- ・自分の知識、経験

◇整理分析の方法

- ・一場面の「ふたりともかなしい気分」と五場面の「ふたりとも、とてもしあわせな気持ち」の二人の様子を比べて考える。

第 三 次  考 え の 形 成  共 有	7	1 全文を音読し、これまでの学習を振り返る。	○今まで書いてきたワークシートや読書カードを振り返るようにする。	〔主体的に学習に取り組む態度①〕 <u>発言・お気に入りカード</u> ・進んで文章の内容と自分の体験とを結び付けて感想をもち、学習課題に沿ってカードを書こうとしているかの確認
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">           お気に入りカードを書こう。         </div>		
		2 「お気に入りカード」の書き方を確認する。	○がまくんとかえるくんのどちらかに決めてカードを書く。	
		3 カードを書く。	○「お手紙」の話だけでなく、ほかの話も根拠にしても良いことを伝える。	
		4 友達が書いたカードを読み合う。	○自分が選んだ登場人物と同じカードから読むことで、自分の考えと比較しながら読むことができるようにする。	
		5 読んだ感想を全体で共有する。	○友達のカードを読んでおもしろいと思ったことや読んでみたくなったお話について話題にする。	
6 単元全体の振り返りをする。	○自分と比べながら読んだり、同じ登場人物も出てくる本を読んだりすることで、物語を読む楽しさが広がることを確認する。			

## 6 本時の学習（5/7）

### (1) 本時のねらい

がまくんに手紙を書いたことを言ってしまったかえるくんの行動の理由を具体的に想像することができる。

### (2) 本時の展開

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	評 価 規 準 評 価 方 法
1 読書カードの内容を振り返る。 2 学習計画を確認し、学習の見通しをもつ。	○どんな感想を書いたか、2～3名に発表させる。 ○学習課題について考え、がまくんとかえるくんのお気に入りカードを書くことを確認する。	
③かえるくんが、がまくんにお手紙を書いたことを言ってしまったのは、どうしてか。		
3 第3場面を中心に音読する。 教師ががまくんと地の文を読み、児童がかえるくんのせりふを音読する。 4 学習課題について、自分の考えを書く。 (1)全文シートのかえるくんとがまくんの様子が見えるところに線を引く。 (2)自分の考えをワークシートに書く。 5 ペア交流をする。 (1)自分の考えが書けた人から席を立ち、全文シートをもって交流する。 C 私は、がまくんを喜ばせたくてかえるくんは言ったと思う。それは、がまくんが「ぼくにお手紙なんかきやしない。」というところから、お手紙をもらうことをあきらめてしまっているからです。 (2)相手を変えながら交流する。 3人程度交流する。 6 考えたことを全体で共有する。 自分の考えと叙述を合わせて話す。 C お手紙がもらえないがまくんに、少しでも元気になってほしくて手紙を書いたので、がまくんを喜ばせたくて言ってしまった。 C かたつむりくんに頼んだお手紙がな	○課題解決を意識して音読するように声を掛ける。 ○様子が分かる言葉を探すために、行動、表情、言い方に着目するように助言する。 ○書くことは苦手な児童は(1)(2)の両方が終わっていても交流してもよいこととする。 ○交流の仕方を確認する。 ・自分の考えを伝えてから、叙述を話す。 ・聞き手は聞いた後に言葉で反応するように助言する。 【児童に示す反応の例】 ・(うなずいて)そうなんだ。 ・ぼくと同じだ。ここいいね。 ○前の場面との繋がりを過去の学習の掲示物から意識できるようにする。 ○どの文章を根拠にしたかを問い返す。その際、どんな読みの視点(見方)や整理分析の方法(比較などの考え)を活用して考えたのか	<div data-bbox="1078 943 1422 1346" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〔言葉による見方・考え方を働かせている児童の姿〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二人の様子や会話、行動の叙述に着目しながら、これまでの場面もつなげながら理由を想像している。</li> </ul> </div> <div data-bbox="1078 1749 1401 2040" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;"> <p>〔思考・判断・表現①〕            発言・ワークシート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像しているかの確認。</li> </ul> </div>

かなか来なくて、がまくんはどんどん元気がなくなったので、励ましたくて言った。

を意識できるように価値付ける。

○意見を見方・考え方に沿って整理し、児童が意識できるよう板書を構造的に書く。

○語彙を意識した問い返しや動作化（「見る」と「のぞく」の違いなど）を行うことにより、語彙の拡充を図る。

7 本時で考えたかえるくんに対して、今日の一言メッセージを書く。がまくんやかえるくんの行動や会話について考えた後に、かえるくんにかきたい言葉を書く。

○自分のこれまでの経験と合わせながら書くとよいことを助言する。

C かえるくん、手紙をあきらめてしまったがまくんを見て、どうしようと思ったよね。わたしも、何度も外を見てしまうかも。伝えてあげた、かえるくんはやさしいね。

○どのように読んだら登場人物の行動の理由が分かったのかを意識して考えることができたかを振り返るようになる。

8 本時のめあてについて振り返り、次時の学習内容を確認する。

(3) 板書計画

本文

ら。とわまるよ・こく・からいうが・か  
 思いくのうこれん早くでか  
 っそんはまたいほよがな見  
 たうが、たいほしるまっがそ  
 だかがせじしるまっがそ

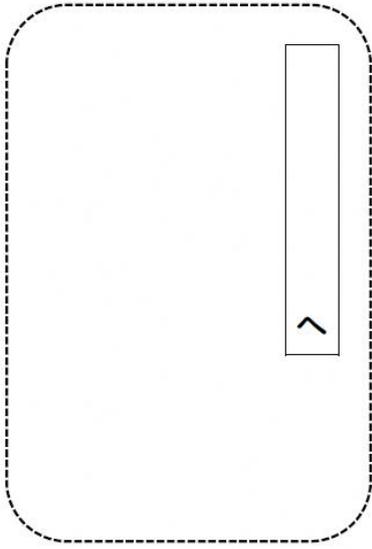
かえるくんが、がまくんにお手紙を書いたことを言ってしまったのは、  
 どうしてか。

お手紙  
 アーノルドローベル 作

お気に入りのがまくんやかえるくんをしようかいしよ  
 う  
 ～自分とくらべて読み、かんそうをもとろう

7 資料

(1) 本時のワークシート



--	--	--	--	--	--	--

㊦ かえるくんが、がまくんにお手紙を書いたのを  
言ってしまったのは、どうしてか考えよう。

お手紙④ 二年組 ( )

(2) お気に入りカード

お気に入りカード

2年組 名前 ( )



読んだお話： \_\_\_\_\_

お気に入りポイント： \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

へ： \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

(3)読書カード

読書カード

2年 くみ 名前 ( )

『ふたりは ともだち』

『ふたりは いっしょ』

はるが きた	がまくん	☆☆☆☆	かえるくん	☆☆☆☆	よていひょう	がまくん	☆☆☆☆	かえるくん	☆☆☆☆
	一言かんそう (お気に入りのポイント)					一言かんそう (お気に入りのポイント)			
おはなし	がまくん	☆☆☆☆	かえるくん	☆☆☆☆	はやく めを だせ	がまくん	☆☆☆☆	かえるくん	☆☆☆☆
	一言かんそう (お気に入りのポイント)					一言かんそう (お気に入りのポイント)			
なくした ボタン	がまくん	☆☆☆☆	かえるくん	☆☆☆☆	クッキー	がまくん	☆☆☆☆	かえるくん	☆☆☆☆
	一言かんそう (お気に入りのポイント)					一言かんそう (お気に入りのポイント)			
すいえい	がまくん	☆☆☆☆	かえるくん	☆☆☆☆	こわく ないやい	がまくん	☆☆☆☆	かえるくん	☆☆☆☆
	一言かんそう (お気に入りのポイント)					一言かんそう (お気に入りのポイント)			
おてがみ	がまくん	☆☆☆☆	かえるくん	☆☆☆☆	がまくんの ゆめ	がまくん	☆☆☆☆	かえるくん	☆☆☆☆
	一言かんそう (お気に入りのポイント)					一言かんそう (お気に入りのポイント)			

読書カード

2年 くみ 名前 ( )

『ふたりは いつも』

『ふたりは きょうも』

そりすべり	がまくん	☆☆☆☆	かえるくん	☆☆☆☆	あした するよ	がまくん	☆☆☆☆	かえるくん	☆☆☆☆
	一言かんそう (お気に入りのポイント)					一言かんそう (お気に入りのポイント)			
そこの かどまで	がまくん	☆☆☆☆	かえるくん	☆☆☆☆	たこ	がまくん	☆☆☆☆	かえるくん	☆☆☆☆
	一言かんそう (お気に入りのポイント)					一言かんそう (お気に入りのポイント)			
アイスクリーム	がまくん	☆☆☆☆	かえるくん	☆☆☆☆	がたがた	がまくん	☆☆☆☆	かえるくん	☆☆☆☆
	一言かんそう (お気に入りのポイント)					一言かんそう (お気に入りのポイント)			
おちば	がまくん	☆☆☆☆	かえるくん	☆☆☆☆	ぼうし	がまくん	☆☆☆☆	かえるくん	☆☆☆☆
	一言かんそう (お気に入りのポイント)					一言かんそう (お気に入りのポイント)			
クリスマス・イブ	がまくん	☆☆☆☆	かえるくん	☆☆☆☆	ひとりきり	がまくん	☆☆☆☆	かえるくん	☆☆☆☆
	一言かんそう (お気に入りのポイント)					一言かんそう (お気に入りのポイント)			